

研修会番号 106

小・中学校長研修会

経験段階	基礎形成期	資質成長期	資質充実期	深化発展期
はぐくまれる 主な資質能力	授業力	生徒指導力	子供理解	学校を支える力
	教育への情熱	たくましく豊かな人間性	自己研鑽力	学校のリーダーとして備えるべき基本的な素養
	学校経営能力	組織管理運営能力	外部連携能力	人材育成能力

目的	本県の教育課題について情報を共有するとともに、対応等を研修することにより、校長のリーダーシップを一層高め、実効性のある学校経営を進める機会とする。			
対象者	小学校校長，中学校校長，宮城教育大学附属小・中学校副校長			
会場	東北歴史博物館			<定員 270人>

月・日(曜)	研修内容
10. 10 (水) 13:30～ 午後のみ	(講演) 「今求められるカリキュラム・マネジメントとは」(仮) 講師：千葉大学 教育学部 特任教授 天笠 茂 氏 ※ 詳細は、小・中学校長宛て後日送付する要項を参照願います。

【PRコーナー】

昨年度は、学習指導要領改訂を前に「新しい学習指導要領の考え方」という演題で講演を聴き、新学習指導要領に関する全体像の理解を深めました。今年度は、「カリキュラム・マネジメント」に関する講演を予定しています。講師には、学校経営学、カリキュラム・マネジメントを専門研究分野とされている 千葉大学 教育学部 特任教授 天笠 茂 氏をお迎えする予定です。

研修会番号 107

高等学校・特別支援学校校長研修会

経験段階	基礎形成期	資質成長期	資質充実期	深化発展期
はぐくまれる 主な資質能力	授業力	生徒指導力	子供理解	学校を支える力
	教育への情熱	たくましく豊かな人間性	自己研鑽力	学校のリーダーとして備えるべき基本的な素養
	学校経営能力	組織管理運営能力	外部連携能力	人材育成能力

目的	本県の教育課程について情報を共有するとともに、対応等を研修することにより、校長のリーダーシップを一層高め、実効性のある学校経営の一助とする。			
対象者	高等学校・特別支援学校校長，宮城教育大学附属特別支援学校副校長，私立高等学校・特別支援学校校長			
会場	宮城県総合教育センター			<定員 117人>

月・日(曜)	研修内容
9. 27 (木)	(講演Ⅰ) 午前「カリキュラム・マネジメントについて」(仮題) 講師：千葉大学 教育学部 特任教授 天笠 茂 氏 (講演Ⅱ) 午後「人と違うことをする勇氣 ～慶應鶴岡キャンパスの挑戦～」 講師：慶應義塾大学 先端生命科学研究所 所長 富田 勝 氏

【PRコーナー】

本研修会は、例年参加いただいた校長先生方から「大いに触発される講義で学校経営の参考になった」、「本日の内容を踏まえ、日々の授業改善を本校教員に促していきたい」などの感想をいただき、大変好評を得ています。今年度も今日的教育課題に対応した研修内容を企画しています。多くの校長先生方の参加をお待ちしています。

研修会番号 108 (推薦研修)

小・中学校
スクールミドルリーダー養成研修会

経験段階	基礎形成期	資質成長期	資質充実期	深化発展期
はぐくまれる 主な資質能力	授業力	生徒指導力	子供理解	学校を支える力
	教育への情熱	たくましく豊かな人間性	自己研鑽力	学校のリーダーとして備えるべき基本的な素養
	学校経営能力	組織管理運営能力	外部連携能力	人材育成能力

目的	本県教育の基本方針と課題についての理解を深めるとともに、学校運営上の諸問題について研修し、スクールミドルリーダーとしての資質と能力を高める。
対象者	小学校・中学校において各教育事務所・各地域事務所が推薦する教諭
会場	宮城県総合教育センター
月 日 (曜)	研 修 内 容 (☆は、高・特と合同開催)
8 . 17 (金)	宮城教育大学教職大学院連携事業 (☆) ※午前のみ
9 . 19 (水)	(講 話) 「スクールミドルリーダーに望むこと」 (☆) (講 義) 「教育法規の見方・考え方」 (☆) (研 究 協 議) 「教育法規事例研究」
10 . 3 (水)	宮城教育大学教職大学院連携事業 (☆)
10 . 26 (金)	(講 話) 「本県の学校教育の現状と課題」 (講 義) 「カウンセリングマインドを生かした教育活動」 (☆) (研 究 協 議) 「実践課題研究」
備考	○ 1年目に行う研修 3 . 5日 ○ 2年目に行う研修 0 . 5日

研修会番号 109 (推薦研修)

高等学校・特別支援学校
スクールミドルリーダー養成研修会

経験段階	基礎形成期	資質成長期	資質充実期	深化発展期
はぐくまれる 主な資質能力	授業力	生徒指導力	子供理解	学校を支える力
	教育への情熱	たくましく豊かな人間性	自己研鑽力	学校のリーダーとして備えるべき基本的な素養
	学校経営能力	組織管理運営能力	外部連携能力	人材育成能力

目的	本県教育の基本方針と課題についての理解を深めるとともに、学校運営上の諸問題について研修し、スクールミドルリーダーとしての資質と能力を高める。
対象者	高等学校・特別支援学校において所属長が推薦する教諭
会場	宮城県総合教育センター
月 日 (曜)	研 修 内 容 (☆は、小・中と合同開催)
8 . 17 (金)	宮城教育大学教職大学院連携事業 (☆) ※午前のみ
9 . 19 (水)	(講 話) 「スクールミドルリーダーに望むこと」 (☆) (講 義) 「教育法規の見方・考え方」 (☆) (研 究 協 議) 「教育法規事例研究」
10 . 3 (水)	宮城教育大学教職大学院連携事業 (☆)
10 . 26 (金)	(講 話) 「本県の学校教育の現状と課題」 (講 義) 「カウンセリングマインドを生かした教育活動」 (☆) (研 究 協 議) 「実践課題研究」
備考	○ 1年目に行う研修 3 . 5日 ○ 2年目に行う研修 0 . 5日

研修会番号 110

長期研修員研究発表会

経験段階	基礎形成期	資質成長期	資質充実期	深化発展期
はぐくまれる 主な資質能力	授業力	生徒指導力	子供理解	学校を支える力
	教育への情熱	たくましく豊かな人間性	自己研鑽力	学校のリーダーとして備えるべき基本的な素養
	学校経営能力	組織管理運営能力	外部連携能力	人材育成能力

目的	平成30年度長期研修員の研究・研修と平成29年度長期研修員の課題解決について発表し、総合教育センターにおける研究・研修の成果を広く紹介する。	初任研(3年目)選択研修	—
対象者	県内の小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校に勤務する教職員（仙台市立学校を除く。）並びに教育行政機関の職員、その他所長が参加を認めた者 ※平成29年度長期研修員（専門研究員、長期研修員A、Bは悉皆研修となります。）〈定員400人〉	中堅研選択研修	○
会場	宮城県総合教育センター		

月・日(曜)	研修内容
2.14(木)	発表者は、宮城県総合教育センターの長期研修員です。それぞれの研究分野、教科・領域のテーマに基づき、研究・研修した成果を発表します。 ※詳細は、後日Webページに掲載します。

【PRコーナー】

〈発表内容〉

○専門研究

県の教育課題について、「授業改善・学力向上」「理科教育」「生徒指導・教育相談」「情報教育」「特別支援教育」の5つのグループが共同研究を進め、その成果を提言します。

○長期研修A

学校や地域の課題を踏まえた実践的・教材開発的研究やカリキュラム開発に取り組み、その成果を発表します。

○長期研修B

各教科、領域において授業づくりに関わる課題の解決に取り組み、その成果を発表します。

研修会番号 111

科学巡回指導訪問・教員対象研修会

経験段階	基礎形成期	資質成長期	資質充実期	深化発展期
はぐくまれる 主な資質能力	授業力	生徒指導力	子供理解	学校を支える力
	教育への情熱	たくましく豊かな人間性	自己研鑽力	学校のリーダーとして備えるべき基本的な素養
	学校経営能力	組織管理運営能力	外部連携能力	人材育成能力

目的	児童には科学に対する興味・関心を高めさせる授業を行い、教員には魅力ある理科授業や教材・教具の提案をしながら、理科学習指導上の課題解決に取り組み、理科教育の充実を図る。
対象者	県内の公立小学校（仙台市を除く）の教員 ※訪問校の近隣小・中学校教員も参加可能（近隣小・中学校には文書で通知）
会場	科学巡回指導訪問を実施する小学校（訪問先については、Webページを参照）

月・日(曜)	研修内容
期日については、Webページを参照	・児童を対象に、科学に対する興味・関心を高めさせるデモンストレーションと理科教室を行う。 ・教員を対象に、理科教育の現状や理科教育相談、総合教育センター理科教育研究グループの研究成果の紹介、授業づくりのポイント、教材・教具の提案等を行う。

【PRコーナー】

「理科教育の現状」では、学習指導要領の解説やこれからの理科教育の在り方についての講義を行い、模擬授業などを通して理科の授業づくりについて考えます。「理科教育相談」では、理科指導における悩み等についてお答えします。さらに、総合教育センター理科教育研究グループの研究成果や授業のポイント等について説明します。小学校の先生方が、楽しく分かりやすい理科授業づくりを行うために様々な提案を行いますので、近隣の小・中学校の先生方も、是非ご参加ください。

研修会番号 112

県立学校臨時的任用職員
(6・6, 6・5講師) 研修会

経験段階	基礎形成期	資質成長期	資質充実期	深化発展期
はぐくまれる 主な資質能力	授業力	生徒指導力	子供理解	学校を支える力
	教育への情熱	たくましく豊かな人間性	自己研鑽力	学校のリーダーとして備えるべき基本的な素養
	学校経営能力	組織管理運営能力	外部連携能力	人材育成能力

目的	教育の今日的課題を理解し、講師としての資質の向上を図ることを目的とする。		
対象者	県立学校の臨時的任用職員(6・6講師及び6・5講師) 8/9: 県北地区特別支援学校の臨時的任用職員 8/17: 仙台・県南地区特別支援学校及び全地区高等学校の臨時的任用職員		
会場	宮城県立迫支援学校(8/9), 宮城県総合教育センター(8/17)		
月・日(曜)	研修内容		会場
8.9(木)	(講義)「教職員の服務について」 (講義)「特別支援教育の今日的課題」 (講義)「障害のある児童生徒の理解」 (演習)「学習指導上の課題, 学級経営上の課題」		迫支援学校
8.17(金)	(講義)「教職員の服務について」 (講義)「特別支援教育の今日的課題」 (講義)「障害のある児童生徒の理解」 ※特別支援学校 (講義)「発達障害のある生徒の理解」 ※高等学校 (演習)「学習指導上の課題, 学級経営上の課題」		総合教育センター

※小中学校及び高等学校については、各教育事務所・地域事務所の主催で臨時的任用職員(6・6, 6・5講師)を受講対象とする研修会が開催されます。なお、高等学校においては、受講希望調査を総合教育センターが行います。

研修会番号 113

保健教育研修会

経験段階	基礎形成期	資質成長期	資質充実期	深化発展期
はぐくまれる 主な資質能力	授業力	生徒指導力	子供理解	学校を支える力
	教育への情熱	たくましく豊かな人間性	自己研鑽力	学校のリーダーとして備えるべき基本的な素養
	学校経営能力	組織管理運営能力	外部連携能力	人材育成能力

目的	複雑・多様化する児童生徒の心身の健康問題を踏まえ、教職員の資質向上及び学校保健活動の充実を図る。	初任研(3年目)選択研修 <input type="radio"/>	中堅研選択研修 <input type="radio"/>
対象者	公立及び私立小学校, 中学校, 高等学校, 特別支援学校, 中等教育学校 校長・副校長・教頭・主幹教諭・教諭(保健主事等)・養護教諭及び代替養護教諭・栄養教諭・学校栄養職員・常勤講師・実習助手・寄宿舎指導員		
会場	宮城県総合教育センター <定員 200人>		
月・日(曜)	研修内容		
7.13(金)	(講義)「学校保健の現状と課題」 講師: 宮城県教育庁スポーツ健康課 指導主事 (講義・演習)「生きる力, 乗り越える力 ~自尊感情をはぐくむ教育~」 講師: 日本ウェルネススポーツ大学 教授 近藤 卓 氏		

【PRコーナー】

自尊感情が様々な領域で注目され、各学校でも自尊感情をはぐくむ取組が行われています。しかし、自尊感情とは何かということが十分理解されないまま、「褒める」という方法のみが自尊感情を高める関わりとして認識されているのではないのでしょうか。『乳幼児期から育む自尊感情』『PTG心的外傷後成長』『死んだ金魚をトイレに流すな』の著書である近藤卓先生をお迎えし、自尊感情とは何か、そして、自尊感情を高めるための方法を講義・演習を通して学びます。

研修会番号 114

養護教諭スキルアップ研修会

経験段階	基礎形成期	資質成長期	資質充実期	深化発展期
はぐくまれる 主な資質能力	授業力	生徒指導力	子供理解	学校を支える力
	教育への情熱	たくましく豊かな人間性	自己研鑽力	学校のリーダーとして備えるべき基本的な素養
	学校経営能力	組織管理運営能力	外部連携能力	人材育成能力

目的	複雑・多様化する児童生徒の健康問題について、養護教諭を対象に研修会を実施し、養護教諭の資質向上及びスキルアップを図る。	初任研(3年目)選択研修	○
対象者	公立及び私立小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、中等教育学校 養護教諭及び代替養護教諭	中堅研選択研修	○
会場	宮城県総合教育センター(11/9)	<定員 200人>	

月・日(曜)	研修内容
11. 9 (金)	<p>(伝達講習) 「H30年度健康教育指導者養成研修を受講して」 講師：宮城県内 養護教諭</p> <p>(講義・演習) 「緊急時の子どものこころの反応 ～心理的応急処置PFAを学ぶ～」 講師：みやぎ心のケアセンター 地域支援部長 福地 成 氏</p>

【PRコーナー】

災害などの緊急時、あなたはどのように子供に声をかけますか？
PFA (Psychological First Aid 子供のための心理的応急処置) とは、災害時などに、ストレスを抱えた子供の心を傷付けず、適切に対応するために、見る・聴く・つなぐの行動原則を基本とした、誰もができる心の応急手当です。養護教諭として、身に付けておきたいスキルです。

研修会番号 115

子供のこころサポート訪問支援研修会

経験段階	基礎形成期	資質成長期	資質充実期	深化発展期
はぐくまれる 主な資質能力	授業力	生徒指導力	子供理解	学校を支える力
	教育への情熱	たくましく豊かな人間性	自己研鑽力	学校のリーダーとして備えるべき基本的な素養
	学校経営能力	組織管理運営能力	外部連携能力	人材育成能力

目的	災害後期における児童生徒の様々な不適応症状に対応するため、長期的視点に立った子供たちへの支援技術を身に付けることを目的として学校単位方式による教員研修を実施する。
対象者	希望する公立小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教職員 (中学校区内の小中学校による合同開催の場合は、学区内の教職員含む。)
会場	希望する公立小学校、中学校、高等学校、特別支援学校 ※合同開催の場合は代表校

月・日(曜)	研修内容
学校の希望する日程 ただし、 7. 23(月) ～12. 26(水)	<p>(講義・事例検討) 「長期的視点に立った児童生徒の心理的サポート」 講師：宮城県内医療機関 精神科医 宮城県内 ソーシャルワーカー 臨床心理士会 臨床心理士 市町村役場 保健師 ※ 公立小、中、高、特別支援学校合わせて10校程度の予定</p>

【PRコーナー】

精神科医や臨床心理士、保健師等を講師として派遣し、講義や事例検討を実施します。今年度はソーシャルワーカーも加え、より学校のニーズに応えられる研修会にしたいと考えています。さらに、状況に応じて同一校に複数回の訪問も可能とします。同一中学校区内における小学校と中学校による共同開催も可能です。

研修会番号 116

子供のこころサポートサテライト研修会

経験段階	基礎形成期	資質成長期	資質充実期	深化発展期
はぐくまれる 主な資質能力	授業力	生徒指導力	子供理解	学校を支える力
	教育への情熱	たくましく豊かな人間性	自己研鑽力	学校のリーダーとして備えるべき基本的な素養
	学校経営能力	組織管理運営能力	外部連携能力	人材育成能力

目 的	災害後期における児童生徒の様々な不適応症状に対応するため、長期的視点に立った子供たちへの支援技術を身に付けることを目的として、サテライト方式による研修を実施する。
対 象 者	公立及び私立小学校、中学校、高等学校、特別支援学校 教職員、寄宿舎指導員、市町村教育委員会職員等、保健福祉関係職員
会 場	石巻合同庁舎（7/30）、宮城県総合教育センター（8/6）、気仙沼市本吉公民館（8/10） 大崎合同庁舎（8/21） ＜定員 340人＞

月 日 (曜)	研 修 内 容
7. 30 (月) (石巻会場)	(講義・演習) 「子供が温かくつながる集団づくり」 講師：株式会社ひとまち 代表取締役 ちょん せいこ 氏
8. 6 (月) (名取会場)	(講義・演習) 「効率的・効果的なケース会議をしよう！ ～ホワイトボードケース会議～」 講師：株式会社ひとまち 代表取締役 ちょん せいこ 氏
8. 10 (金) (気仙沼会場)	(講義・演習) 「いじめの問題の理解と対応 ～グループアプローチを通して～」 講師：奈良教育大学教職大学院 教授 粕谷 貴志 氏
8. 21 (火) (大崎会場)	(講義・演習) 「自己肯定感をはぐくむコーチング」 講師：ドリームフィールド 代表 阿部 侑生 氏

【PRコーナー】

子供のこころサポートサテライト研修会は、各地域の教職員や保健関係職員が参加しやすいようにサテライト方式で、石巻合同庁舎、宮城県総合教育センター、気仙沼市本吉公民館、大崎合同庁舎を会場として実施します。今年度は大崎会場も新設し、また、夏季休業中の開催となり、より多くの方に参加いただける研修会となりました。

内容は、毎年好評の「ホワイトボードケース会議」の他に、「集団づくり」「いじめ」「自己肯定感」をテーマに、演習を取り入れながら研修を行います。4つの会場のうち、いずれの会場への申込みも可能です。